

徳島県総合計画審議会における委員意見の反映等について

1 開催日時 平成17年9月2日(金) 13:30~15:30

2 いただいたご意見の概要及び意見に対する県の考え方

(1) オンリーワン徳島行動計画の施策等に反映した意見

1 「オープンとくしま」の実現

少子高齢化が進んでいって、平成42年には徳島県の人口は13万7千ぐらい減り、今80万を超えている人口が60万台になるといわれているが、30年先の徳島県がこうなるということを見据えた、来年、再来年の施策の展開が要るのではないか。

[県の考え方]

「オンリーワン徳島県行動計画」の計画期間が平成18年度末で終了することから、現行動計画の進捗状況や、本県を取り巻く様々な状況の変化等を踏まえ、新たに「長期ビジョン」の視点を取り入れた、次期行動計画を平成18年度中に策定します。

[計画への反映]

重点施策 オープンとくしまの展開

県民活動プラザについては、早速土曜日夜に会議室が使えるように対応していただきありがたいと思っているが、普通の日についても会議室は使えるが、コピー機が使えないので、何とかやり繰りをしていただいて、この3月までのような元の利用形態に戻していただくと尚ありがたい。

[県の考え方]

とくしま県民活動プラザについては、平成17年8月から、土曜日の開館時間を21時までに変更し、会議室及び印刷機等が利用できるようになりました。

さらに、印刷機等の夜間使用については、平成18年4月からは火曜日から土曜日までの夜間使用ができるよう、改善見直しを図ってまいります。

[計画への反映]

重点施策 とくしまパートナーシップの推進

主要事業 NPO・ボランティアとの連携・協働

2 「経済再生とくしま」の実現

「社会性を育む職業教育の推進」というところで「ニート問題（若年者の無業化）」についても18年度は盛り込んでいただきたい。

[県の考え方]

ニート対策については、正しい職業観・勤労観の育成が大切であり、小・中・高校において、教育活動全体の中で、計画的にキャリア教育に取り組んでいるところです。

今後とも児童生徒の発達段階を踏まえ、オンリーワンハイスクール推進事業、キャリア教育推進地域指定事業、地域の達人活用事業等において、主体的に進路を選択する能力・態度の育成などに努めてまいります。

また、若年無業者の就業を支援するため、平成18年度はキャリアコンサルタント、臨床心理士による個別カウンセリングなどを実施します。

[計画への反映]

<u>重点施策</u>	とくしま雇用戦略の展開
<u>主要事業</u>	就業支援と職業能力開発の充実
<u>重点施策</u>	生涯を通じた学びの推進
<u>主要事業</u>	社会性を育む職業教育の推進

3 「環境首都とくしま」の実現

「とくしま地球環境ビジョンの展開」については、単に省エネとかいうだけではなく達成が難しいと思うので、エネルギーを使ってもそれが排出ガスをゼロにするようなもの、バイオマスを提案したわけである。

バイオマスの推進検討委員会を設置して具体的に積極的に推進していただきたい。そして、徳島がバイオマスのメッカみたいになってくると、徳島の産業も発展するし、地球環境にもいいということで、是非ともお願いしたい。

[県の考え方]

木質バイオマスの有効利用を図るため、検討会を開催し、利用のあり方を取りまとめたところであり、木質バイオマスの利活用を進める市町村や企業等と連絡を密にし、情報提供や施設整備の助成など総合的に支援していきたいと考えています。

また、事業者のバイオマス資源によるエネルギー利用の事業化について、国の補助事業等の活用や事業化検討会等へ参画して支援を行ってまいります。

[計画への反映]

<u>重点施策</u>	とくしま地球環境ビジョンの展開
<u>主要事業</u>	新エネルギーの普及促進

「環境首都とくしま」の下水道の推進で、実は徳島はオンリーワンではなくて全国でワーストワンである。これは県だけがやることではないので、なかなか難しいとは思いますが、下水道の普及については長期的な観点でもう少し力を注いでいかなければいけないのではないかと。

[県の考え方]

下水道の普及向上は、市町村の事務ではありますが、市町村だけでは限界があり、県等の財政的、技術的支援も重要と認識しております。

このため、「オンリーワン行動計画」や「環境基本計画」に短期、中期目標の指標を示し、県と市町村が共通認識を持って、その実現に取り組んでまいります。

[計画への反映]

重点施策 きれいな水環境の実現

主要事業 「生活排水処理ホップ・ステップ・ジャンプ作戦」の展開

4 「安全・安心とくしま」の実現

防災の講演会には多くの人が集まり、県民のニーズが高いと思うので、もっとPRをされた方がいいと思うが、ただ講演会に来る方の年齢が高すぎると感じた。

20代、30代という子育てで忙しかったりしてなかなか参加できないと思うので、例えば、学校の運動会の種目中、何か防災と日常生活に繋がりのあるようなものを教育委員会から提案されたらいいのではないかと。

[県の考え方]

防災センターにおいて、防災に関する様々なテーマを取り上げた講座を開催しており、新聞やホームページ等で積極的にPRを行っています。講座は休日に開催していることもあり、幅広い年齢層の県民の参加を得ております。

また、各学校においては授業参観日等の学校行事の中で避難訓練や水難救助法・着衣泳講習会の取り組みがなされています。今後は防災教育モデル校の実践例を各学校に紹介し、保護者も防災関連の学習に参加できる機会を考えてまいります。

[計画への反映]

重点施策 とくしま - 0 (ゼロ) 作戦の展開

主要事業 地域防災力の強化

公立小中学校施設の耐震改修状況調査（文部科学省）においては昭和56（1981）年以前の耐震診断実施率は全国平均56.3％に比べ、徳島は約50％（48.6％）だが、耐震化率は全国平均24.6％に比べ、徳島は5％以下（3.9％）と非常に低くワースト4位である。

公立学校というものは、地域で何か大きな災害が起きた時に非常災害時の避難の場所でもあり、安全性の確保というものが非常に重要なので、学校関係の（耐震化率の）目標値や今後の計画は設定値の数値目標が低いのではないかと思うので、より重点的にもう一度見直しをやっていただきたい。

[県の考え方]

公立小中学校施設の耐震化については、設置主体となる各市町村に取り組みを強くお願いしてきています。平成18年度から予定されている次期地震防災五箇年計画等において、学校施設の耐震化がより進むよう、国に対してより一層の制度の充実を要望するとともに、各市町村に対し積極的な取り組みを指導してまいります。

[計画への反映]

重点施策 とくしま - 0（ゼロ）作戦の展開

主要事業 地震・津波災害に強いまちづくり

高齢者の単身者が非常に増えており、安心・安全とくしまの中で災害があった場合、どうやって高齢者の方を避難所まで連れていけばよいのかといつも心配しているが、地域のみinnで考えていかないといけない問題と思う。

[県の考え方]

災害時要援護者の避難誘導を迅速に行うためには、同居の家族の他、近隣住民の積極的な協力が必要となります。

災害時要援護者支援対策マニュアルにおいて、平常時から近隣のネットワークづくりをすすめ、地域住民同士の協力関係をつくることの重要性を記載し、地域における取り組みを促進しています。

[計画への反映]

重点施策 とくしま - 0（ゼロ）作戦の展開

主要事業 地域防災力の強化

防災については、災害弱者のことをもう少し視点に取り入れた活動がなされるようにして欲しい。県では「災害時要援護者支援マニュアル」を作っているが、例えば、防災センターに災害弱者の視点を取り入れた展示をするなど、もう少し分かりやすい形での普及啓発をしていただきたい。

[県の考え方]

防災センターでは、来館された災害弱者に対し、一般来館者より時間をかけて分かりやすく説明するなど、災害弱者に配慮した案内に努めています。

さらに、防災ガイダンス（映像）のコーナーには、聴覚障害者のために、音声の内容を要約したものを備えています。

今後とも、災害弱者の視点を取り入れた展示等、分かりやすい啓発ができるよう工夫してまいります。

[計画への反映]

重点施策	危機管理のための体制づくり
主要事業	防災施設等の整備
重点施策	とくしま - 0（ゼロ）作戦の展開
主要事業	地域防災力の強化

耐震住宅の改修が本当に進んでいないということで、より一層の普及啓発に努めていただきたい。

[県の考え方]

住宅の耐震化促進については、昭和56年以前に建築された木造住宅に対して、平成16年度より耐震診断・耐震改修への支援を開始しています。診断については県内全市町村で実施されており、自己負担3千円で診断が受けられます。

また、診断の結果「倒壊の危険あり」とされた住宅で、一定水準以上の安全性を確保する改修工事を施工するものに対し県と市町村で工事費の2/3以内かつ最大60万円を補助することとしており、平成17年度は県内21市町村で実施されています。

耐震診断の推進については、地震に対する知識や防災意識の向上を図り、その必要性を市町村とともに周知していきたいと考えています。

また、耐震改修補助の県内全域での実施にむけ市町村の取り組みを強化するとともに、耐震相談所の活用や施工者講習会の開催、パンフレットの作成、また、広報や新聞等マスコミへの取材協力を通じて制度の普及・啓発に努めます。

さらに、簡易な耐震補強工事に対する支援制度を平成18年度から実施する予定であります。

[計画への反映]

重点施策	とくしま - 0（ゼロ）作戦の展開
主要事業	地震・津波災害に強いまちづくり

公立の小学校などが避難所に取り扱われて、国立の学校は（地震災害の）避難所に入っていないというのは腑におちないので、ぜひ国立の学校も避難所にしていただければ、随分高齢者も助かると思う。

[県の考え方]

災害の避難所は、市町村がその施設の管理者の同意を得た上で指定することとなっています。

国立の学校施設については、管理上の理由などから、避難所に指定できていない施設がありましたが、一層の協力を得て、指定箇所になってきております。

[計画への反映]

重点施策 とくしま - 0（ゼロ）作戦の展開

「とくしま安心ライフの実現」というところで、医療関係については、郡部でも中心部と同じような医療が受けられるようなシステムに是非ともしていただきたい。

[県の考え方]

「県民がいつでも、どこでも、等しく高度な保健医療サービスが受けられる徳島づくり」を基本理念として、医師の地域偏在や診療科による偏在（小児科・産婦人科・麻酔科等の医師確保が困難）などの課題の解消に向け、今後、地域における医療機関の機能分担と連携を促進し、質の高い医療を提供できる体制の構築を図ってまいります。

[計画への反映]

重点施策 とくしま安心ライフの実現
主要事業 安全で安心できる医療の提供

医師の偏在については医師会内部でも十分検討されつつあり、郡部の医師不足に関しては、県と徳島大学病院と医師会とで何とか早く善処しないといけないということで話はすすんでいる。

[県の考え方]

医師の地域偏在と診療科偏在等による医師不足は、本県でも深刻な問題となっております。このため、徳島県医療審議会医療対策部会において審議いただき、「地域医療支援機構」を設置し、より積極的に医師確保対策を実施することといたしました。

また、県医師会に委託しているドクターバンク事業を柔軟な勤務条件に対応できるものとするとともに、県医師会女性医師部会とも連携を図りながら育児休業等により現場を離れた女性医師の現場復帰を支援することとしています。

[計画への反映]

重点施策 とくしま安心ライフの実現
主要事業 安全で安心できる医療の提供

県では公共施設のアスベストの使用状況についての公表をどのように考えているのか。また、学校では給食施設にアスベストが使われているか、調査されているのか。

[県の考え方]

県立施設におけるアスベストの使用状況については、最終の調査結果を平成17年12月22日に公表を行ったところです。今後、アスベスト使用施設の点検、管理等については、各所管課が引き続き行ってまいります。

学校では今年度、文部科学省の「学校施設等における吹き付けアスベスト等使用実態調査」に基づき給食施設を含め調査が行われ、その結果、県・市町村立とも給食施設についてはアスベスト等の使用はありませんでした。

また、学校給食調理場における調理機器等に関する調査も行い、アスベスト等使用機器については、代替品に取り替えるなど適正な処理をしたところです。

[計画への反映]

重点施策 健康とくしまの実現
主要事業 アスベストによる被害の防止

吹き付けアスベストを使っている建物のこれからの維持管理と飛散防止というものが大きな問題であり、今後、アスベストが使われた建物が解体される場合に、住民の健康を守るという側面から、行政ではどういう姿勢を持って取り組んでいくのか。

[県の考え方]

従前、大気汚染防止法では一定規模以上の大規模施設を対象に解体時の飛散防止を義務づけておりましたが、今回のアスベスト問題の発生を受け、他県に先立ち条例改正を行い、対象を全ての施設に拡大したところです。

今後は、適切な解体が行われるよう書類審査、現場指導等必要な指導を行うとともに、解体施設周辺のアスベスト濃度を保健環境センターで測定し、その実効性の確認に努めてまいります。

また、解体後のアスベスト廃棄物の排出・処分等については、廃棄物処理業者や解体業者等を対象に講習会を開催し、適切な取り扱い周知・徹底、関連知識や処理技術の向上を図るとともに、必要な監視に努めてまいります。

[計画への反映]

重点施策 健康とくしまの実現
主要事業 アスベストによる被害の防止

5 「いやしの国とくしま」の実現

「きめ細かな指導体制の整備」については、「小学校1・2年生への35人学級の導入」が実施され、本当にありがたいと思っているが、中学年にもできるだけ35人学級を広げていただきたい。少人数指導の加配教員については、学校の裁量で少人数学級に配置できるように、文部科学省に要望して欲しい。

[県の考え方]

県では、小学校1・2年を対象とした少人数学級(35人以下学級)の全県展開に取り組んでおり、小学校中高学年や中学校でのチームティーチングなどの少人数指導と併せて、個に応じたきめ細かな少人数教育の実施に努めております。来年度においても、学校設置者である各市町村教委や各学校と十分に協議しながら継続実施する計画であります。

なお、国に対しては、少人数学級への教員配置を円滑に行うための加配定数の充実等を従来から要望しているところでありますが、今後も、本県の教育水準の維持向上を図ることを念頭に、地域や学校現場の実情に合った少人数学級等の少人数教育を推進できるよう教職員定数の一層の充実を国に要望してまいります。

[計画への反映]

重点施策 とくしま子どものびのびプランの展開
主要事業 きめ細かな指導体制の整備

スクールカウンセラーについては、保護者のカウンセリングの希望が多いので、配置の充実をさらに進めて行っていただきたい。

[県の考え方]

臨床心理に関して、高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーの配置を充実させ、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見、早期解決に努めてまいります。

[計画への反映]

重点施策 とくしま子どものびのびプランの展開
主要事業 きめ細かな指導体制の整備

「特別支援教育コーディネーター」については全学校に配置となっているが、学級担任をしながら特別支援を要する子どもたちのコーディネートはなかなか難しく、もう少し人的な配置がなされるとありがたい。

[県の考え方]

特別支援教育コーディネーターは、人的配置はされていませんが、他の校務分掌の軽減、担任外に指名、複数配置など、各学校の実情に応じた取り組みの工夫がされています。今後も総合教育センターの相談機能や専門家チーム、巡回相談員制度を活用して、コーディネーターひとりに負担がかかりすぎることのないよう努力してまいります。

[計画への反映]

重点施策 とくしま子どものびのびプランの展開

主要事業 きめ細かな指導体制の整備

「特別支援教育コーディネーター養成研修の実施」に関連して、総合教育センターが開所されたが、県の中心部にある学校政策課の方と実践の場である総合教育センターの方との意思疎通、コミュニケーションはうまくいっているのか。

また、生涯学習支援において各市町村で問題がでてきた場合は、総合教育センターで対応してもらえるのか。

[県の考え方]

学校政策課と総合教育センター（特別支援課）は、各業務に関して互いに共通した担当や窓口を配置しており、業務の連絡にあたっては互いに連絡を密にしながら取り組むこととしています。今後とも、互いに意志疎通を図りつつ、一体的に教育行政に取り組んでまいります。

また、生涯学習支援における問題については、広域的な課題や技術的なサポートが必要な場合があれば、総合教育センター生涯学習課で対応させていただきたいと思います。

[計画への反映]

重点施策 とくしま子どものびのびプランの展開

主要事業 きめ細かな指導体制の整備

重点施策 生涯を通じた学びの推進

主要事業 生涯学習の拠点づくり

「いやしの国とくしまの実現」のスポーツの振興では、平成5年の国体時に比べ、今は全国で45、6位の順位であり、一気にはいけない話ではあるが、もう少し具体的にスポーツの水準を上げていくための施策が進められていくべきではないのか。

[県の考え方]

本県の競技力向上を図るため、県体育協会を通じて各競技団体に、また、県より各学校体育連盟に対して、強化事業費の一部を補助しています。この補助にあたっては、これまで以上に、重点強化・成果志向型の考え方を取り入れています。

また、平成18年度からは、高校スポーツを強化するために、高校に「強化指定校制度」を導入します。

[計画への反映]

重点施策 とくしまスポーツ王国づくり

主要事業 競技力向上対策の推進

6 「ユニバーサルとくしま」の実現

民生児童委員のことだが、個人情報保護法ができて大変活動がしにくくなったので、徳島県に入った、顔写真入りの名札を付けて訪問をしていきたいと考えているので、是非ご検討をお願いしたい。

[県の考え方]

従来より、民生・児童委員手帳に県印を押印し、身分証明としてきましたが、地域のつながりの疎遠、個人情報の保護等により、訪問活動が困難な場合もあり、顔写真入りの証明証の必要性も考えられることから、平成18年度に、顔写真を貼付した名札の作成を行いたいと考えております。

[計画への反映]

重点施策 ユニバーサルとくしまの体制づくり

「男女共同参画推進拠点の整備」、私たち女性の夢であった拠点ができるということで、非常に感謝している。

18年度の秋ぐらいにオープンするらしいが、一応ハード面はできたということで、ソフト面の実施をドンドン進めて行っていただきたい。

ソフト面の中身については、運営実行委員会みたいなものを作り、実際に動いていくというのを1年前からしたらどうか。

[県の考え方]

徳島県男女共同参画推進拠点の運営準備につきましては、あらゆるステージにおける男女共同参画を推進する活動拠点としての有効な利用を図るため、20名の委員からなる「徳島県男女共同参画推進拠点運営準備委員会」を平成17年10月31日に設置し、11月28日に第1回の準備委員会を開催しました。今後も準備委員会を開催し、拠点の運営について検討を進めてまいります。

[計画への反映]

重点施策 男女共同参画立県とくしまの実現
主要事業 男女共同参画交流センターの整備

「はばたき」がアスティとくしまに整備予定の男女共同参画推進拠点に移転するのに伴い、県立の子育て支援センターが欲しいとは思いますが、無理ならば、託児室のプレイルームの隅にでも作って欲しいとお願いしている。「はばたき」の整備については) 1年前から運営委員会を設置していただいて、準備に取りかかっていたきたい。

[県の考え方]

男女共同参画社会の実現に向けた様々な講座を実施する中で、子育て支援講座等を行うとともに、男女共同参画推進拠点内で開催される講座等に参加しやすい環境を整えるために、子どもの一時的預かりを実施します。

男女共同参画推進拠点内に、「子育て総合支援センター(仮称)」を設置し、地域子育て支援センター等関連組織相互の連携を図るとともに、関係者の育成等を進めていくこととしています。

[計画への反映]

重点施策 男女共同参画立県とくしまの実現
主要事業 男女共同参画交流センターの整備
重点施策 健やか子育て環境づくり
主要事業 地域の子育て機能の強化

「男女共同参画の推進」の中で、平成17年度取組予定として、本県の実情に応じた「配偶者暴力防止等基本計画」の策定にあたっては、男女共同参画会議で調査・審議を行うとあるが、先ず保護して、支援して、その後自立するというような、より具体的内容を持った基本計画を早急に策定していただきたい。

[県の考え方]

平成17年12月26日に「配偶者暴力防止及び被害者保護に関する徳島県基本計画」を策定しました。配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策は、一般的な広報啓発等から個別のケースに対して行われる被害の発生防止、相談、一時保護、自立の支援等に至るまで広範多岐にわたっています。

こうしたことから、基本計画は、「被害者に配慮した保護体制の充実」「被害者への自立支援の促進」など7つの基本目標を掲げて、総合的にこれらの施策に取り組むこととしています。今後は、この基本計画に基づき、関係機関と連携を図りながら、各種施策に取り組んでまいります。

[計画への反映]

重点施策 男女共同参画立県とくしまの実現
主要事業 配偶者からの暴力対策の推進

「健やか子育て環境づくり」の中で、非正社員の女性は育児休暇が取りにくい現状だと思っているので、非正規で働いている方も育児休暇を取りやすい環境にしていきたい。

[県の考え方]

現在、県におきましては、策定・届出が義務づけられていない従業員300人以下の事業所に対する「一般事業主行動計画」の周知・啓発、指導等による策定推進や、「育児・介護休業法」の定めによる以上の制度を労働協約等に規定し、制度利用を図る企業等に対し支援を行っております。

今後とも、非正社員も含めた働きやすい職場環境づくりを推進してまいります。

[計画への反映]

重点施策 健やか子育て環境づくり
主要事業 とくしま女性輝き事業の実施

保育所の延長保育の問題について、今はほとんどの所が月～金曜日は19時まで可能となっているが、土曜日に関しては12時半までという所が多い。

今は昔と違って、働き方も多様化しているので、土日も、月～金曜日と同じ時間帯で延長保育できるような形にしていただければ、多くのお母さん方が助かるのではないかと思う。

[県の考え方]

土曜日の午後については、利用希望者がある場合には、平日と同様の開所時間とするよう市町村及び社会福祉法人等を指導しています。

また、就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応するため、延長保育の実施（開所時間が11時間超）については、市町村に対し次世代育成支援対策交付金の活用を指導しています。

休日保育の実施については、今後も未実施市町村における取り組みの促進を図る必要があると考えています。

[計画への反映]

重点施策 健やか子育て環境づくり
主要事業 とくしま女性輝き事業の実施

板野の総合教育センターには託児ルームがあると思込んでいたのに、この時代に無くて、先生がおもちゃやマットを会議室に持ち込んで託児ルームに変えている。

また、砂場の庭もついた立派なプレイルームはあるのだが、障害児の機能訓練のためのもので、一般には開放されていないので、障害のある子供たちが訓練の合間の時間でもいいから、健常児と自然に交わるようにプレイルームの解放をお願いしたい。

[県の考え方]

総合教育センターのプレイルームは、教育相談に来所した子どもの行動観察や遊戯療法などを目的として設置されたものです。

また、教育相談は1月5日から12月27日（土、日、祝日は除く）の午前9時から午後5時までの間実施しており、常時、対応できるようにしておく必要があるため、現時点ではプレイルームの一般開放には難しい状況にあります。

なお、総合教育センターは生涯学習の拠点としての機能もあることから、託児の必要な場合に備えて、託児ルームを確保いたします。

[計画への反映]

重点施策 健やか子育て環境づくり

重点施策 生涯を通じた学びの推進

「徳島県ひとにやさしいまちづくり条例」については、中身が古いので、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた条例にしていただきたい。

「徳島やさしいまちづくり賞」という建物の賞についても、古い条例に即したチェックで賞を選んでも仕方がないと思うので、もう一度中身についてご再考いただきたい。

[県の考え方]

「徳島県ひとにやさしいまちづくり条例」について、平成18年度は、関係法令との整合を図るとともに、徳島県の特徴を出しながら「ユニバーサルデザイン」を前面に押し出した条例に全面改正する予定です。

このため、現行条例の規定に基づき表彰している「徳島やさしいまちづくり賞」の取り扱いについては新条例の規定に従うこととし、同様の賞が存続する場合は新しい基準に沿った調査により表彰できるよう見直してまいります。

[計画への反映]

重点施策 ユニバーサルなまちづくり

主要事業 ユニバーサルデザインの推進

「徳島県ひとにやさしいまちづくり条例」の推進

7 「にぎわいとくしま」の実現

この達成度の評価は大変分かりやすくいいと思う。ただ、観光客の入り込み数はもっと多く目標設定して欲しい。

[県の考え方]

県内への観光入り込み客数は平成15年では1,325万人、平成16年では1,280万人となっております。観光入り込み客数の目標設定は、県内への最大の入り込みを記録した、明石海峡大橋の開通した平成10年の数値であります。

昨今の景気動向を反映し、全国的に国内旅行を手控える中、「観光客に選ばれる県づくり」を目指し、積極的な誘客推進を図るとともに、受け入れ態勢の充実強化に努めるなど、「にぎわいとくしまの実現」に向け、効果的な施策を実施することにより、まずは、県内への最大の入り込み数である1,400万人を目標として設定し、達成するよう努力してまいります。

[計画への反映]

重点施策 いいとくしま観光・交流の推進
主要事業 観光客の受け入れ態勢の充実強化

観光リピーターについては、観光を終わって出身地へ帰られた後のフォローを何かされた方がいいのではないかと。例えば、8月の阿波踊りの観光が終わって、できれば1週間後ぐらいにメール配信等でプラスのアドバイスができればもっと徳島のファンは増えていくのではないかと思います。

[県の考え方]

観光リピーターを育てるには、提言内容のようなきめ細かな配慮が必要であることから、メールマガジン「とくしまファンクラブ」の内容の一層の充実を図るとともに、イベントの開催時期などに合わせたタイムリーな情報発信に努めてまいります。

[計画への反映]

重点施策 いいとくしま観光・交流の推進
主要事業 観光とくしまブランドの確立
重点施策 にぎわい活力とくしまの実現
主要事業 イベント情報の効果的な発信

(2) 今後の検討課題とするものなどその他の意見

総合計画についての評価部会を設置していただき、第三者的な立場から評価をしていただけたことは、非常に大きな前進であると思う。

ただ、この時間が1時間半で全部評価するというのは、ちょっと無理ではなかったかという気がするので、2回に分けてするとか、1回をもう少し長くするとかすればいいのではないか。

オンリーワンの行動計画の中で、うまくいっていないという面については、評価部会ではあまり議論がされていないようなので、評価部会でももう少し時間をかけて評価をしていただきたいと思います。

[県の考え方]

「計画の進行管理において、評価・検証にあたり、第三者的な組織での検証が必要でないか」との委員からのご意見を踏まえ、総合計画審議会の部会として、今回、計画推進評価部会を設置し、平成17年8月2日にご審議していただいたところです。

また、評価部会の時間設定に関しては、できるだけ時間を長く取るのがよいとは思いますが、やはり本当に集中して議論できる時間というのは限られておりますので、委員の皆様には、事前に資料を送って十分目を通していただいてから審議会に臨んでいただくように努めております。

評価全体についての意見であるが、今回の数値だけでは、その評価が非常に難しいので、「環境」「人権」「協働」「県民満足度」「事業経費」等の観点も含めた、立体的な(多面的な)評価指標を提示していただければ、トータルでその事業をもっと推進すればいいのか、ちょっと見直した方がいいのではないかとということが判断しやすくなるのではないか。

[県の考え方]

予算編成と連携して、政策的なすべての事業について、目的妥当性、有効性、効率性、必要性の観点からの評価を行っております。

今後、計画の進捗状況の点検・評価の手法についても、より分かりやすく、適切な方法を検討してまいりたいと考えております。

「女性医療・性差医療」について要望をしたが、残念ながら一言も触れていただけていないので、取り上げて欲しい。

女性と子どもが元気でないと、この少子高齢化の社会はとてもしり抜けることはできないと思うので、女性医療を充実してほしい。

[県の考え方]

「女性医療・性差医療」についてはニーズが高いことから、県のホームページで、どの医療機関に行けば女性医師による診療や乳腺関連の診察が受けられるか、また、どの医療機関に更年期外来があるかなどの情報をできるだけ分かりやすく提供できるように努めております。

また、徳島大学病院においては、女性のための医療相談外来や専門外来（妊婦、不妊、更年期、腫瘍、乳腺）があることも踏まえながら、「総合メディカルゾーン」の整備を進める中で、県立中央病院としての果たす役割についても協議してまいりたいと考えております。

「ユニバーサルとくしまの実現」のところで、人権を保障するために各市町村では、「部落差別撤廃人権擁護条例」という形から、最近では「人権条例」という形に移行していく市町村が増えてきた。全ての人の人権を擁護していくために、できれば「人権条例」というものを作っていただく中で、こういったものをなお推進しやすい状況作りができればありがたい。

[県の考え方]

「オンリーワン徳島県行動計画」において、重点施策として「人権が尊重される社会づくり」を掲げるとともに、「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」を定め、人権尊重社会の実現に向けた取組を図っております。ご要望の「人権条例」につきましては、今後の県の人権施策の展開ともあわせ、十分研究していきたいと考えております。

文学書道館については観光客の誘致を進めているが、寂聴先生が向こうで講義をなさると大勢の方が集まったという実績がある中で、場所に問題あるのかと思うぐらい浸透してくれない。暴言と思うが、文化の森のあたりに集約するとかは無理だろうか。

[県の考え方]

文化の森も含めた立地場所を検討した結果、現在の位置に建設したものであり、対応は困難であります。なお、利用促進については、魅力ある企画展や教育普及事業の開催に努めるとともに、ポスター、チラシはもとよりインターネットや県の広報媒体、マスコミ等を通じて積極的なPRに取り組んでまいります。